

# お客様ご紹介コーナー

たかはた商店様

(八幡平市松尾町)

電気料金は高いと思いつつも必要なものだし仕方ないと思っていました。そんな折、電研さんが訪ねてきました。とりあえず試算をしてみました。その結果、高圧契約にすれば、年間で80万円ほどのランニングコスト削減になるといわれ、半信半疑でしたが導入することにしました。

翌月からの電気料金の請求書を見て納得しました。8万円から10万円近い金額が減っていたのです。

10年前、店を改築した時、電気工事屋さんは、設備が50キロを超えるので高圧契約が必要と言っていました。が、電力関係の方から配慮してもらい、冷蔵庫などの設備は同時に動くわけではないので低圧契約でも大丈夫とアドバイスされました。

その頃で高圧設備は200万円位はかかると言われたこともあって、内心儲かったと思いき高圧契約を見送りしました。

差引勘定を考えると、これまでに大変な損失をしたものだと思います。

高畑社長談

雄大な岩手山を背景にした店舗と十数台の自動販売機郡は、温泉郷行き帰りのドライバーのオアシス



高畑オーナー

高畑社長はお店の設備のほとんどを自分で治すプロ顔負けの技術マン。この日も作業中をパチリと失礼しました。

## 電気の世界

電気は保存ができません。買ったその場で消費されてしまいます。ことは言え、生活に欠かせない存在。それだけに値段や購入方法も興味深いところですよ。

電気の購入方法は規模によって違います。電気設備が50KW以上の大きな施設では高圧で買い、それ以下のところでは低圧で買入しています。

(平成17年4月から高圧契約のお客様は自由化の対象)

高圧、低圧ってなに？

### ①低圧契約

電力会社の柱上トランスから照明器具や冷蔵庫、電熱機器機に使用する100V・200Vの電源の供給を受ける契約

・契約電力50KW未満(店舗、オフィス、一般家庭など小規模施設)  
※一般家庭の電灯契約単位IIアンペア 1アンペアIIKW



低圧契約の供給設備  
柱上トランス(電力会社の設備)

### ②高圧契約(自由化の対象です)

電力会社の送電線から直接6600Vで電気を購入し、自家用の受電設備(キュービクル)で、1000V・200Vに変換する契約

・契約電力50KW以上  
(スーパー、デパート、病院、ビル、工場などの大型施設)



高圧契約のお客様設備  
(柱上設置型小型変電設備)

※高圧契約では、受電設備はお客様の負担で設置するため、電力会社の電気供給設備(トランスなど)やメンテナンスは最小限になります。従って電気料金単価も格段に安く設定されています。



こんにちは長洞勝です。  
だいぶ涼しくなってきました。  
いよいよ味覚の秋ですね。